

8 計画を推進するための横断的な視点

(1) 地域特性を踏まえた地域や事業者等との協働

本市の自然や歴史・文化，社会経済情勢，地域コミュニティの状況など，地域特性を踏まえたきめ細かな施策展開に努めます。

また，より積極的に地域と協働による施策展開を図る観点から，地域づくりに主体的に取り組む住民やNPOなどの志縁団体，民間事業者等の多様な主体との連携を促進します。

住民	<ul style="list-style-type: none"> ○地域特性やまちなみの維持保全，安全や景観，バリアフリーに配慮した住宅・住環境づくりに取り組む。 ○住宅・住環境に関する情報の取得に努め，まちづくりやコミュニティ活動に積極的に参加することで，本市が目指すまちづくりの実現に貢献する。
志縁団体	<ul style="list-style-type: none"> ○住民や地縁団体（まちづくり協議会等）と連携し，それぞれの目的に基づき地域の課題解決や魅力の向上に向けた継続的な活動に取り組む。 ○専門的な視点，外部の視点を地域に持ちこむとともに，地域の情報を外部にも発信するなどまちづくりのサポートを拡大する。
民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○本市の住宅施策やまちづくり施策に協力するとともに，良質で多様な住宅や宅地を適正に供給できるように努める。 ○住宅の生産者として，また住宅市場にかかわる立場として，市民への情報提供を積極的に行う。
市	<ul style="list-style-type: none"> ○国の動きや社会経済情勢の変化に的確に対応した住宅政策を実現するため，国の制度を積極的に活用するとともに，法に基づく住宅政策のPRに努める。 ○住宅政策に関連する各種事業の積極的な推進を図る。 ○関連団体や庁内の連携を図り，住宅政策を推進するための体制づくりを行うとともに，各施策を所管する部署を明確化し，的確な施策評価を行う。

(2) 他分野との連携による総合的かつ効果的な施策展開

住宅政策においては、良好な街なみや景観形成などの都市計画分野、子育て支援や高齢者・障がい者対策などの福祉分野、地域の安全安心を確保する防災・防犯分野、省エネや自然エネルギー活用などの環境分野、生活を彩り、人間性を涵養する文化分野などとの連携を一層図り、市民生活を豊かにするための総合的な施策を展開します。

また、限られた住宅関連予算の中で、市民が安全・安心に暮らせる住宅の確保の必要性、環境負荷の低減に対する効果、地域コミュニティや住宅市場の活性化等を考慮し、本市にとって効率的・効果的な施策を推進します。

(3) 市場重視による良質な住宅ストックの形成と活用

住宅政策として多様化する住宅ニーズに対応するためには市場による対応が効果的であり、市場における適正な取引を促進しつつ、高齢者対策や住宅セーフティネットの確保等についても、可能な限り市場と連携した施策を展開します。

また、住宅の「量」から「質」への転換や住宅政策における環境問題への貢献などが求められる中、市場を活かして良質な住宅ストックを形成していくとともに、住宅ストックの維持管理や住み替え等の循環を促進しつつ、市民がそれぞれのニーズに応じて無理のない負担で良質な住宅を確保できる環境整備を図っていきます。